

令政クラブレポート



市民の皆さまと共に歩む 令政クラブの施策要望が実現！



1 JR蕨駅に新型(スマート)ホームドア設置



1年前倒して今年の2月29日から供用開始となりました。このドアは従来と同様の強度を保ちながらアルミやステンレスを多用した軽量で、工期の短縮もできる国内初のものです。

平成29年1月の蕨駅での転落事故を受け、国土交通省への設置前倒しの要望や町田駅の試験中の軽量ホームドアの視察なども行ってきた成果が出せました。

3 想定浸水深標示の設置



昨年の台風19号による増水で、越水寸前だった荒川。防災対策として要望していた標示が令和元年度末に終了。市内に100本あります。

4 中央公民館にエレベーター設置

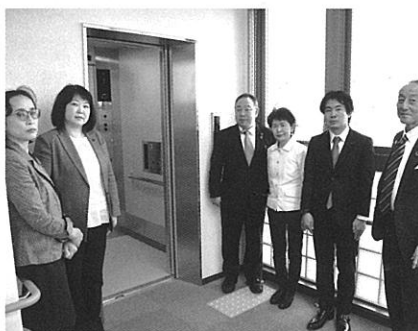


2 わらびりんご通り信号設置

区画整理が進む錦町地区に新しくできた通学路にもなっているわらびりんご通り。交通量が急増したため信号機の設置を要望し実現しました。



5 西公民館にエレベーター設置



令和2年度蕨市一般会計予算に 令政クラブ 重点要望が反映されました 重点要望

① 進む、第三地域包括支援センター 設置準備



いきいき百歳体操

担当包括別総合相談件数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第一包括	1,840	1,630	2,068
第二包括	1,817	2,131	2,233
合計	3,657	3,761	4,301

地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途として、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい

暮らしが続けられるように地域で助け合い、地域の実情に合った医療や介護や生活支援などが一体的なサービスとして提供されるしくみです。

令和2年3月の蕨市の65歳以上の人口は17,458人(23.1%)、そのうち75歳以上の人口は、9,071人。そのケアシステムの拠点が、地域包括支援センターです。現在、市内に2か所(錦町と南町)あり、来年度、塚越地区に第三地域包括支援センターを開設予定。今年度は公募を行い、施設整備費に対する補助金を交付予定です。

⑩ 学校ICT環境の早期整備

令政クラブの要望であり、急務となっていた「学校ICT環境の早期整備」について令和2年度当初予算に計上されました。国の「GIGA(ギガ)スクール構想」に合わせ、令和2年度は小学5・6年生、中学1年生、小・中特別支援学級へのパソコンの配置、校内LANの整備も併せて指導用パソコンなどが予算計上されました。また教職員研修の充実を図るため教育センターにパソコンの配置やLAN整備などを実施します。今後は児童生徒に適した機種を選定や活用方法を要望し、児童生徒の学習機会の確保のためのオンライン授業についても併せて要望していきます。



① 超高齢社会に対応した地域包括 ケアシステム蕨モデルの早期構築

② 蕨市立病院耐震化整備の早急な実施

③ 蕨駅西口地区再開発事業の着実な推進

④ 錦町土地区画整理事業の早期推進

⑤ 中心市街地活性化基本計画の着実な推進

⑥ インフラの計画的維持管理・更新の推進

⑦ 災害対策の強化拡充

⑧ 防犯対策のさらなる推進

⑨ 2020東京オリンピック・パラリンピック に向けての総合的対応

⑩ 学校ICT環境の早期整備

3月議会概要報告

令和という時代に入って初めての3月議会は、公衆衛生危機管理の在り方が問われている中で開会しました。「新型コロナウイルス感染症の影響で、感染の拡大防止に、市がその対策に専念できるよう、一般質問は自粛しよう。」という合意が三会派による代表者会議で合意に至っていたのですが、全員協議会において会派に属さない議員各位の合意が得られず、議長による配慮要請という結論に達しました。当初の会期日程より2日間短縮された最終日の本会議で、過去

最高の総額259億8,000万円となった令和2年度一般会計当初予算案ははじめ合計26件が可決承認されましたが、討論・採決終了後の休憩中に議会運営委員会が開かれ、議員提出議案等2件が可決されました。1件は議員の費用弁償を廃止すること。1件は新たに予算決算常任委員会を設置することであり、いずれも令政クラブがかねてより提唱してきた事案であり、全会一致は感慨深いものがありました。



④ 錦町区画整理のさらなる スピードアップを



見通しが悪い、くにゅと曲がった旧街道。区画整理によって見通しがよくなり、危険も減ります。

昭和58年にスタートした本事業の昨年度末における進捗率は、家屋移転が66%、街路築造が77%です。今年度には19戸(+繰越明許9戸)の家屋移転、西小北側の街路築造等を予定しています。

区画整理によって曲がりくねった見通しが悪い道を、太

く通りやすく見通しがいい道に引き直すことにより、安全で防災面でも安心な街並みを造ります。綺麗で新しい家々が立ち並ぶようになり、街の住みやすさも向上します。

街のバリューアップは、その地域に住む人が便利になるだけでなく、人口増・税収増となって蕨市全体に利益をもたらすものです。

⑦ 災害時の生活を考える!



地震や水害などの災害時に地域の拠点となるのが避難所として運営される体育館になります。避難所の環境整備にエアコンの設置は欠かせません。速やかな設置の要求と、昨年の初めての避難所開設をかえりみて、浸水時避難の環境整備経費を要求していきます。

外国籍の方が多い当市において、災害時の外国人対応は必須の課題です。防災の観点からも多文化共生を考えていきます。

⑨ 2020東京オリンピック・ パラリンピックに向けての 総合的対応

新型コロナウイルス感染症の影響で、東京オリンピック・パラリンピックの1年延期が決定となりましたが、蕨市では開催に向けての準備と予算付けを行っています。

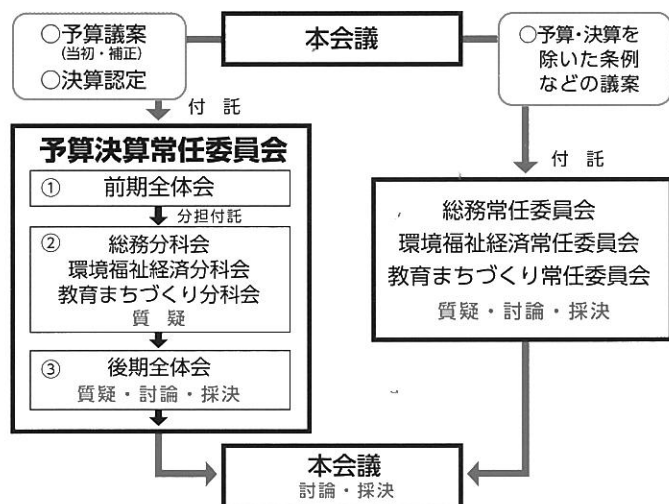


7月7日に予定されていたオリンピックの聖火リレーにあわせた旧中山道の舗装整備をはじめ、聖火ランナーが走る姿を多くの市内外の皆さまに応援いただけるための会場づくり、協働提案事業では商店街による中仙道蕨宿の風情を生かした沿道の演出への取り組み、小学5年生及び中学のバスケットボール部、サッカー部を対象にし、埼玉を会場とした競技の学校連携観戦チケットも予定していました。

議会改革への取り組み

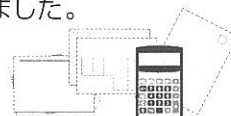
1 決算常任委員会から予算決算常任委員会へ

これまで、予算や補正予算は、その内容に応じて3つの常任委員会に分割付託され、それぞれ委員会で審議・採決してきました。しかし、研究者や実務の立場からは、違法性や議案一体の原則に反するとの指摘がありました。予算決算常任委員会では議長を含む議員全員によって予算・補正予算・決算の審議を行うようにし、分野ごとに常任委員会メンバーが分科会で質疑することで予算と決算の担当が同じメンバーで行うこととなり、専門性が増すことになります。全体会で予算決算常任委員会としての討論・採決を行い、本会議での討論・採決というプロセスになります。



2 政務活動費の完全公開化

2019年度分より政務活動費関連資料の完全公開をすることといたします。領収書も含め全てが公開対象となります。蕨市議会では政務活動費は会派に対して支給しており、その使用用途も全国でも相当厳密なものになっています。2020年度からは行政視察時の昼食費も政務活動費の対象から外すことになりました。



3 費用弁償の廃止が実現

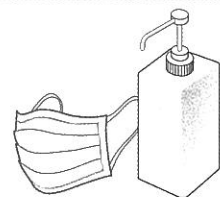
議員が本会議や常任委員会に出席した時に自治体が払う交通費等を費用弁償といいます。面積が日本一小さい蕨市においては、その必要性は少ないため、費用弁償制度を廃止いたしました。なお、障がいのある方が議員になった場合に関しては、実費を精算する方式にするなど柔軟な対応を検討することを含まれております。



令政クラブでは、今後も積極的な議会改革を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策に関して

この稿を書いている4月16日、全国に緊急事態宣言が発令されました。不要不急の外出と密接・密閉・密集を避けるさらなる徹底が必要です。このような非常時、議員は何をすべきか、と問われると、広く情報を集め執行機関(市)と協力して「待ったなしの対応」を構築する仕組みを作ることではないかと考えます。従来の方方法にとらわれることなく、命や生活を守るための知恵を絞りしたいと思います。



あとがき

残念ながら、東京オリンピック・パラリンピックが延期となりましたが、スポーツは平和な日常がなければ行えません。スポーツという社会文化の価値は、私たちが体を動かし心を解放し、違いを超えて人とつながる、かけがえのない日常の価値そのものです。2019ラグビーワールドカップはじめ東日本大震災の被災地で見たスポーツの力。それをテーマとしてきた2020東京オリ・パラは今、世界の思いをつなぐ役割を託されたようにも思います。日本にとどまる聖火が希望の光であり続け、一年後に蕨市役所を出発して旧中山道を戸田橋方面へと向かう聖火リレーが、かねてからの予定どおり行われることを信じています。



市民相談のご案内

市政に関する市民相談を行っています。迅速な対応を心がけておりますので、お近くの議員へどうぞ。

池上 智康

住所: 北町3-4-27
☎(431)2438

前川 やすえ

住所: 中央1-17-30-2-1203
☎(446)3740

保谷 武

住所: 錦町4-4-9
✉warabi@hoyatakeshi.com

大石 けいこ

住所: 塚越7-7-18
☎(431)0431

古川 歩

住所: 中央5-10-16
☎(433)9887

今井 陽子

住所: 中央6-2-26
☎(444)3442

令政クラブ レポート

誰もが「安全で安心して暮らせる」まちの実現を

今年は新型コロナウイルス感染症という、これまで経験したことのない事態が発生し、緊急事態宣言が国から発出され、知事による休業要請なども行われました。

その中で、国・県・市のどこがリーダーシップを発揮し、主導するのがいいのか。例えば海外から入ってくる方々についての政策は当然、国でありましょう。一方、身近な市民生活については、市のほうがダイレクトにニーズを把握できます。だからこそ、市民生活に関することは基礎自治体がリーダーシップを発揮して、スピード感ある実効性の高い施策をとっていくべきであります。

新型コロナウイルスの感染拡大で、世の中は大きく変わりました。地方自治体は自身の責任と判断で進むべき方向を決定し、自立した行政経営を行うことが求められており、蕨市においても、劇的に変化する社会情勢を鑑み、将来にわたる持続的な発展を目指す必要があります。

令政クラブは、誰もが「安全で安心して暮らせる」まちの実現に向け、さらなる防災・防犯・福祉の充実、教育の充実、社会資本の整備等に一致団結して取り組んでまいります。

令政クラブ会長 池上智康

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う課題 (5月7日時点)

1. 医療崩壊の防止
2. 感染拡大の予防
3. 市民の心身の健康の維持
4. 企業の廃業・倒産の防止
5. 失業の防止
6. 経済活動の縮小に伴う、経済的な理由による家庭崩壊・自殺の予防
7. 学校休業に伴う、小中学生の学力・体力低下の防止、メンタルケア
8. 巣ごもり生活の長期化に伴う、DV・児童虐待・高齢者虐待の防止



重要かつ緊急な課題解決の提言

- ◆医療機関への支援
- ◆蕨戸田医師会との連携強化
- ◆ケースワーカーの増員、低所得者層向けの支援
- ◆オンライン教育の加速、GIGAスクール構想の前倒し
- ◆DV・児童・高齢者虐待対策の強化
- ◆市民の心身の健康維持
- ◆行政サービスのレベルの維持
- ◆緊急対策の分かりやすい広報

以下も令政クラブの提案です。

- 1 蕨市新型コロナ緊急対策第2弾の水道料金の無料化
- 2 避難所での感染拡大防止用のテントの整備



5月7日に市に提言

1 新型コロナウイルス感染症が私たちの暮らしや社会経済・環境に与えた影響は計り知れないものがあり、しかも長引くと言われています。蕨市も第3弾までの緊急対策を打ち出しましたが、市民の命や暮らしを守るための更なる取り組みの強化を要望いたしました。



私たちが提案した水道料金の無料化(結果としては基本料金でしたが)のような広く市民のためになる支援策を要望するとともに、令政クラブも更なる提案をしていきます。

また、災害対策の強化においては、災害情報の周知や避難所運営などの課題に感染症対策が加わりました。防災訓練もままならない状況下では、災害対策用資機材の整備と

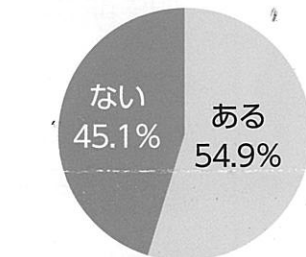
同時に自助・共助を支援するための早急な施策が必要です。

そして、緊急支援第3弾まで切れ目なく続けている市内事業者への支援は、蕨商工会議所などの関連団体と連携して可能な限り継続していくことを要望します。



8 1年前までは、学校ICT環境に大幅な遅れがあり、「学校ICT環境の早期整備」を令政クラブの重点要望としました。しかしながら、今回のコロナ禍により大きく社会状況が変化しました。感染症等による休校時における学習の機会確保の重要性から、国の「GIGA(ギガ)スクール構想」が前倒しとなり、全小中学校に大型TV・教師用端末・児童生徒用端末の配備が予算計上され「児童生徒1人1台のパソコン整備」が今年度中に完了のはこびとなりました。

子供が占有してオンライン学習で利用できるPC、タブレットの有無(回答数4,199名)



※令和2年5月蕨市教育委員会アンケートより

学校ICT教育の充実、端末の整備で終わりではありません。今後は端末を使用した教科教育のための指導者側のスキルアップおよび、学校ICT化を実践的に支援する「ICT支援員」の配備を要望していきます。

令和3年度 重点要望

1 市民を感染症から守り抜く体制の強化

激変した社会経済環境に即応する生活支援施策の充実

感染症拡大予防をふまえた災害対策の強化拡充

新型コロナの影響で極めて厳しい状況にある市内事業者への支援

2 地域包括ケアシステムの早期構築とその深化・推進

3 蕨市立病院耐震化(建て直しを含めた)整備計画の緊急な策定

4 蕨駅西口地区再開発事業の着実な推進

5 錦町土地区画整理事業の早期推進

6 インフラの計画的維持管理・更新の推進

7 防犯対策のさらなる推進

8 学校ICTの活用・充実

9 安全な学校給食を提供できる給食センターの整備

10 適切な外国人住民政策の策定

11 中心市街地整備推進機構と観光協会の機能強化支援

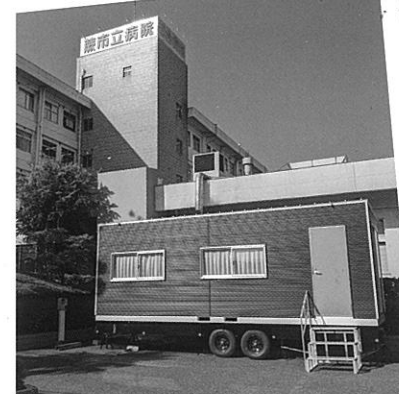
**令政クラブの要望も取り入れた
新型コロナウイルス緊急対策第3弾**

今年の6月定例会・7月臨時議会では、私たちの暮らし・経済を大きく変えてしまった新型コロナウイルス禍への対応のため、例年よりも多くの案件が上程され可決されました。5月初旬に令政クラブが提出した新型コロナウイルス対策提言書の中の多くが取り入れられ、実現致します。

対策の柱は、(1)感染拡大・医療崩壊の防止、(2)経済活動の縮小に対応した生活支援、(3)地域経済を守るための経済対策であり、これらに加えて、「学びの継続」のためのGIGAスクール構想(小中学校へのICT環境の導入)の前倒しです。対策の多くが、国からのお金(新型コロナウイルス対策交付金)をうまく活用して実施するものです。

市民の健康・生活と地域経済を守るため、いつ収まるとも知れず、状況も日々変わる新型コロナウイルス禍に対しては、令政クラブは、引き続きスピード重視で取り組んで参ります。

3 昭和45年築の建物は老朽化が進んでおり、平成10年に受けた耐震診断においても強度不足という結果が出ています。今すぐにでも建て替え(あるいは耐震工事)をしなくてはならないことは、誰の目にも明らかです。新型コロナウイルスへの対応で医療の現場は多忙を極めていたとはいえ、先延ばししていいものではありません。



発熱者等トリアージ*のための仮設待合室が設置されました。

*トリアージとは緊急度に応じて治療や搬送の優先度を決めること

9 築約40年の給食センターは、近年の夏の暑さに対応できる構造にはなっていません。害虫には充分注意を払った上で、窓を開けての作業も見受けられます。調理設備の老朽化も否めません。子どもたちへの安心安全な、かつ安定的な給食提供は必須です。



暑さのため窓を開けての作業



※令和2年9月1日現在

市内の外国人(57カ国中)の上位5カ国	
1	中国
2	ベトナム
3	韓国
4	フィリピン
5	ネパール

蕨市の人口(住民基本台帳ベース。不法滞在を除く)に占める在住外国人の割合は、継続的に増加傾向にあり、9.8%となりました。地域コミュニティ・学校教育の現場では、様々な課題が生じています。その都度、現場の対応に追われるのではなく、そろそろ私たちが蕨在住の外国人とどう向き合うか、根本的な方針を定めるべき時期になりました。その方針は、私たちが自ら考え出したものでなくてはなりませんし、差別やヘイトを防ぐようにしてはなりません。

塚越防災拠点 消防署「塚越分署」が完成



消防署塚越分署が生まれ変わり8月25日から供用開始となりました。ここには蕨市消防団第一分団も併設されています。

新分署は地上3階建て延床面積は旧分署の倍以上になりました。蕨の伝統織物「双子織」をモチーフとした外観になっています。

設備も一新し、速やかな出動を助ける電動跳ね上げ式シャッター、資機材の積み下ろしをするための電動フック、感染症対策として器具などを適切に清掃できる除染室・防火水槽・非常用自家発電設備を設けています。女性用の仮眠室、オストメイト対応の多目的トイレも新設されました。訓練設備



屋上の自家発電装置



歴史ある館銘板はそのまま使用

としては放水壁、屋内進入を想定したバルコニーも新たに作られました。地域の防災訓練の場所としても使えます。

消防署員は常に6名体制。消防車2台、救急車1台が配備され消防救急・防災の拠点として安全安心な暮らしを支えます。

今年の議会報告会は「ネット動画配信」

第5回目の議会報告会は新型コロナウイルスの影響を踏まえ、三密を避ける方法で実施をし、メールや電話等で市民の皆様からのご意見をいただきます。日時などは議会のホームページでお知らせいたします。ぜひご視聴ください。



議場が引っ越します

10月末に引っ越し、12月議会から北町の仮設庁舎3階で開催。



7月臨時議会での役職変更

蕨市議会

議長
前川

副議長
大石

議会運営委員会…◎池上／保谷
総務常任委員会…池上／大石
環境福祉経済常任委員会…○今井／前川
教育まちづくり常任委員会…◎古川／保谷
予算決算常任委員会…◎大石／○池上／前川
保谷／古川／今井
広報広聴委員会…◎保谷／古川／前川／大石

◎委員長 ○副委員長

令政クラブ

会長…池上
幹事長…保谷
総務会長・広報…大石
相談役・監査…前川
政務活動担当…古川
会派会計担当…今井

あとがき

新型コロナウイルス感染症により、私たちの住む蕨市、埼玉県、日本はもちろん、全世界が大きなダメージを受けています。令政クラブは、皆様の生命・財産そして生活を守るために何ができるか日々話し合い、多くの提言を市にしてきました。多くの政策が実現しているとはいえ、まだまだ安心できる状況ではありません。

令政クラブは再生に向け、国・県ともつながりをもった新しい施策を積極的に提案し、この困難に立ち向かってまいります。

市民相談のご案内

市政に関する市民相談を行っています。迅速な対応を心がけておりますので、お近くの議員へどうぞ。

池上 智康

住所：北町2-10-9
☎ (431)2438

前川 やすえ

住所：中央1-17-30-2-1203
☎ (446)3740

保谷 武

住所：錦町4-4-9
✉ warabi@hoyatakeshi.com

大石 けいこ

住所：塚越7-7-18
☎ (431)0431

古川 歩

住所：中央5-10-16
☎ (433)9887

今井 陽子

住所：中央6-2-26
☎ (444)3442

令政クラブ レポート



地域のマンパワーの活用で、 新たなつながり創出を！

会長 池上 智康 | いけがみ ともやす

謹んで新年のお祝辞を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症という、これまで経験したことのない事態が発生し、コロナ禍のなかで、つらくやるせない日常を送ることとなりました。

・蕨市でもコロナ対策で臨時議会・定例議会ごとにその都度、

補正予算が提案され緊急時においても限りある財源を、最大限有効かつ適切に執行するため、令政クラブでは随時市民の皆さまのご要望に応えるよう緊急提言等を行ってまいりました。

今まさに自治体のガバナンス能力が、あらためて求められているのであり、地域包括ケアシステム

の早期構築とその深化・推進は、地域再生とリンクしているわけがありますから、地域のマンパワーの活用を、市の地域資源開発戦略の一つに位置付ける必要がある、と考えます。

元氣なリーダーの発掘と活用は、具体的な地域貢献運動を通した地域のつながり創出という、地域活性化面の成果にも波及していくでしょう。

今年も令政クラブは、誰もが「安全で安心して暮らせる」まちの実現に向け、さらなる防災・防犯・福祉の充実、教育や環境問題への取り組み、社会資本の整備等により一丸となって取り組んでまいります。

仮設庁舎議場にて



令和3年度 常任委員会別 予算要望

総務関係

○行財政改革の推進

- 市税・国保税等の収納率のさらなる向上と目標値の設定
- 人事の採用・育成・配置計画のオープン化と新規採用の継続化
- 行政需要に対する組織づくりの適正化

○自治体DXを見据えた情報化施策の推進

- 市民の利便性の向上や行政事務の効率化を基本とした第4次蕨市情報化総合推進計画の確実な実施
- 公共施設への無料公衆無線LANの導入

○災害に強いまちづくりの推進

- 災害情報提供の充実
- 各コミュニティにおける防災訓練のサポート拡大
- 災害時の連絡マニュアル作成など地域と行政の連携強化
- 荒川の越水・決壊・内水災害への備えの充実
- 防災ハザードマップの継続的改善

○災害弱者への支援の強化

○市税支払いへの電子決済、カード払いの導入

○ファシリティマネジメントの速やかな推進、プロセスのオープン化

○国庫・県補助金の獲得活動の充実

○政策決定過程のオープン化、情報公開範囲の拡大

○地域防災力強化のための消防団員の確保、装備の充実強化

○共生に向けての定住外国人の生活環境の整備

- わかりやすいゴミ出し標示や行政サービス情報等の多言語化の推進

昨年の新型コロナウイルス感染関連の給付金の手続きをきっかけに、浮き彫りになった行政手続きの課題。料金発生を伴う申請や添付資料の提出はまだ多い。狭い蕨市でも「市役所に行かなくても済む」は、大切な市民サービスです。



大石 けいこ
おおし けいこ

令政クラブ令和3年度重点要望の大テーマ「市民を感染症から守り抜く体制の強化」について、生活支援策の充実・災害対策の強化・市内事業者への支援をはじめ、市政全般に関連する事項を中心に要望いたしました。



池上 智康
いけがみ ともやす

環境福祉経済関係

【環境関係】

○蕨市環境基本計画の具体的な施策の推進

- 再生可能エネルギー事業の推進(市民への補助制度の充実)

○3R運動(Reduce・Reuse・Recycle)の一層の推進

- 花苗交換事業の一層の推進

○蕨市さわやか環境条例の周知と実施徹底

○町会加入の促進支援

○外国人へのゴミ出しルール of のさらなる周知の徹底

○禁煙エリアの周知とさらなる徹底

○高齢者・障がい者世帯へのゴミ戸別収集の確実な実現

○積極的なカラス対策

ごみ出しルールの更なる周知徹底を図るため、日本語以外にも対応可能な英語・中国語・韓国語等の案内を作成し、積極的なカラス対策についてもさらに努めてまいります。



今井 陽子
いまい ようこ

【経済関係】

○新型コロナ緊急経済対策の速やかな実施

○商店街活性化事業の推進支援

○小規模事業者等への支援制度の拡充

○空き店舗対策事業の強化

○コミュニティビジネスの創業と育成支援

○中心市街地整備推進機構への支援の拡充

○低未利用地の有効活用

キャッシュレス化という新しい生活様式の推進と商店街応援としてPayPayなどを活用した経済対策を実施！市民の安心安全な暮らしを守るためにもafterコロナ、withコロナも念頭に商店には切れ目のない後押しを！頑張ってください！



前川 やすえ
まえかわ やすえ

【福祉関係】

○新型コロナウイルス感染拡大の防止

- 蕨市医師会との連携強化
- 感染拡大防止に向けた市民の意識啓発と心身の健康維持

○人生100年時代を見据えた高齢者福祉の充実

- 松原会館の在り方の見直し
- 高齢者虐待防止対策の強化
- きめ細かい介護予防事業・地域支援事業の充実
- 認知症予防対策のさらなる推進
- 認知症初期集中支援チームの活用
- 認知症患者の家族への支援の充実
- 認知症サポーターの活用体制づくり

○障がい者支援の充実

- 多機能型事業所(スマイラ松原)の夜間保護事業を含めた充実運営
- NPO 法人など地域活動支援センターやボランティア団体の運営支援
- グループホームやショートステイ施設の整備
- 相談支援事業や就労支援センターの充実
- 就労の機会や地域活動への参加の拡大
- 手話言語条例の制定及び施策の推進
- パラリンピックの聖火ビジットの開催へのエントリー
- 超重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業の導入

○子育て支援の充実

- 子育て世代包括支援センターの充実
- 産前産後ケア事業の拡充
- 保育園の待機児童を0名に
- 虐待防止の啓発とその対策強化
- 留守家庭児童指導室の拡充と環境整備

○生活保護の適正な実施

- 要保護者の把握と適切な生活保護の実施
- 訪問調査(家庭訪問)の適正な実施
- ケースワーカー充足率100%の実現

○わらび健康アップ計画の推進

- 保健センターの事業実施体制の強化

検査体制の充実

市民病院でPCR・インフルエンザの同時検査ができるようになりました

第三地域包括支援センターができます

令和3年4月1日から塚越地区で開始



手話言語条例

令和3年3月制定に向けてのパブリックコメントが終了

5番目の子育て支援センターができました

令和2年12月に塚越の大型商業施設内の業者に委託開始



教育まちづくり関係

【教育関係】

◎教育指導の充実化

- 道徳心、国を愛する力を養う教育内容のさらなる充実
- 給食を通じた食に関する教育の充実
- 児童・生徒のボランティア・福祉教育の推進
- 児童・生徒の基礎学力と体力の向上
- 障がいの種類や程度にきめ細かく対応した特別支援教育
- 教育センターにおける相談体制の充実
- 教育センターにおける教員研修とICT教育研修環境の充実
- 外国籍児童・生徒をはじめとする日本語教育支援の充実
- 小学校の外国語教育の充実
- 外国人園児・児童生徒保護者補助金の廃止

◎社会教育の一層の充実

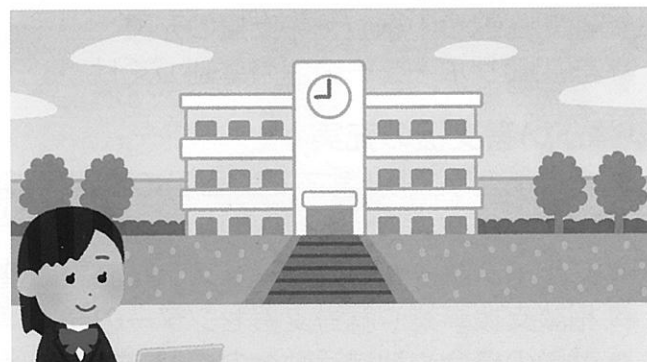
- 公民館の備品の充実
- 生涯学習推進体制の充実
- 市民活動の推進
- 放課後子ども教室のさらなる充実
- 市民体育館アリーナへのエアコン設置
- 河鍋暁斎美術館への支援強化
- アウトメディア運動の発展的な見直し

◎学校教育施設の充実

- 各小・中学校トイレの全面的な早期改修
- 各小・中学校体育館へのエアコン早期設置
- 各小・中学校プールの在り方の見直し
- 学校図書室のさらなる内容充実
- 学校教材並びに備品の充実
- 部活動への支援強化

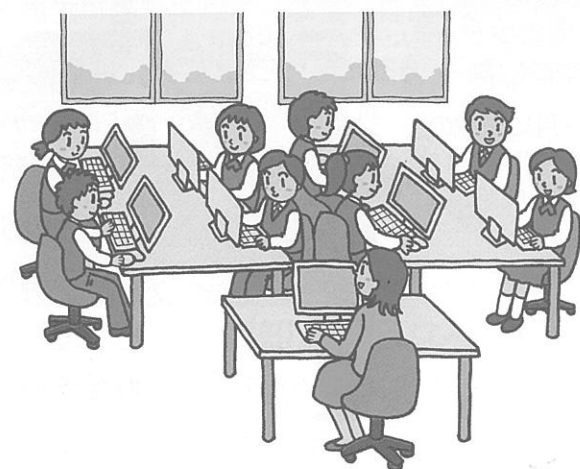
◎スポーツ・レクリエーションの振興

- 富士見グラウンド及び関連施設の整備
- 総合型地域スポーツクラブの設立支援
- 市民ロードレース大会の内容充実
- 信濃わらび山荘の在り方の見直し
- 中央プール・塚越プールの在り方の見直し



古川 歩
ふるかわ あゆみ

学校が変わる! GIGAスクール構想について



GIGAスクール構想とは、文部科学省のプロジェクトで、児童・生徒1人1台のパソコンと高速ネットワークを整備し、個別最適化された創造性を育む教育を実現するものです。3年間で整備する計画でしたが、コロナ禍で学校が休みになっても子どもたちの学びを保障できる環境をつくるため本年度末までに整備いたします。令政クラブでは当初よりGIGAスクール構想の加速の要望、導入時、運用時に対応した支援員の配置、教員が活用できる環境整備などを求めています。

【まちづくり関係】

- ◎台風・豪雨による冠水被害地域への対策強化
- ◎市営住宅の適正な管理
- ◎雨水桝・汚水桝の突出改修
- ◎道路(透水性舗装等)・公園施設の更新及び維持管理費の増額
- ◎橋梁の計画的修繕
- ◎花いっぱいのもちづくり運動の展開
- ◎下水道の耐震化と長寿命化
- ◎老朽化した下水取付管の布設替え
- ◎空き家対策の強化
- ◎住居地番表示板の整備
- ◎自主防災団体への支援強化
- ◎防犯カメラの増設
- ◎大規模集合住宅との官民連携協定締結交渉の推進
- ◎道路標示の適正管理
- ◎旧来型小径U字溝のフタの設置促進、新型大径ロングU字溝(フタ付き)への敷設替え
- ◎見沼代用水の環境整備
- ◎緑川の定期的浚渫工事、環境整備を県に要望

蕨駅西口再開発により 駅西口が生まれ変わります



415戸の高層マンション、商業施設、図書館と行政センターができます。駅前は「街の顔」です。蕨はもっと住みやすく豊かな街になるでしょう。令和2年9月、再開発組合が設立されました。令和7年に竣工予定です。

保谷 武
ほや たけし



令和3年度 地域別 予算要望

錦町地区地域要望

- 元蕨法華田線・錦町松原線交差点への交通信号の設置
- 郷南公園、富士見球場北側歩道への交通信号の設置
- 錦町2丁目15番地道路カーブの交通安全対策
- 元蕨法華田線と富士見球場・関東トナミ配送センター間の変形T字路の交通安全対策
- 元蕨法華田線の通学路安全対策
- わらびりんご公園周辺の交通安全対策
- わらびりんご公園への公園整備用の水道の増設
- わらびりんご公園の雑草対策
- わらびりんご公園の表土・芝生剥げに対する適切な保守
- 旧中山道消防団第4分団車庫角T字路の交通安全対策
- 松原会館前の道路への防犯灯設置
- 農協前道路の向かい側歩道のガタガタ段差対策
- 西小 屋外トイレの改修
- 西小 校庭プール裏に地域スポーツ団体向け用具倉庫の設置・提供
- 錦町土地区画整理区域の雨水及び汚水管きよの設置促進
- 市道13-30号線及び市道16-06号線の浸水対策
- 富士見球場の環境整備、老朽設備の更新
- 二中裏門前横断歩道付近の防犯対策
- 区画整理事業の中長期計画の策定・公開
- 画整理事業の中長期計画において、街路築造・家屋移転が5年以上先になる地域における、迅速な下水・雨水排水対策
- 元蕨法華田線の路上待機トラック対策
- 画整理事業によって新たに築造された幹線道路の愛称制定
- 錦町松原線の庚申塔交差点の交通安全対策

北町地区地域要望

- 北町地区のちびっこ広場の整備・拡充
- 記念樹公園の適切な整備と保守
- 市道22-25号線景観道路整備(跳ね橋の通り)
- 市道24-11号線舗装補修(蕨高校東側通り)
- 市道24-14号線舗装補修(丸三土建置き場の北側通り)
- 市道25-21号線舗装補修(トイザらスの北側通り)

中央地区地域要望

- 中央浄水場前通りの歩道拡幅
- 中央小学校と隣接した歩道の景観舗装
- 市道31-49号線、31-46号線防犯対策(沖電気・ルネ線路側)
- 蕨駅西口駅前通りの舗装改修
- 銀座通り商店街の早期歩道確保
- 旭町一丁目防災倉庫の設置場所確保
- 中央四丁目御殿防災倉庫の設置場所確保
- 市道31-49号線舗装補修(沖電気線路側)
- 西口駅前の美化のさらなる推進
- ぶぎん通り商店街景観道路の早期補修
- どんぐり公園北側入口ポールの原形復旧
- 市道32-11号線(城北信用金庫からジェーソン)の自転車専用通行帯設置
- 中央2-38番北側歩道空隙地の緑化及びベンチ設置
- 中央東小学校の重く動きづらい正門とグラウンドの改修
- 旧中山道南側入口近辺および中央小学校裏近辺道路冠水の解消
- ジェーソンのある交差点近辺の道路冠水の解消
- 中央6-5番交差点近辺の道路冠水の解消
- 旧旭町公民館コンクリート塀の撤去
- 市道36-54号線(ふるさと土橋公園西側)の交通取り締まり強化
- 中央公園北側道路(市道33-18号線)の路面整備



南町地区地域要望

- 多目的公園としての三和公園の早期全面改修(フェンスの除去・排水設備・危険なプレート)
- あけぼの公園の改修および排水対策
- 南町ファミリー菜園の土砂流出防止と除草対策
- 緑川の定期的浚渫工事、環境整備を県に要望
- 県と共同による、南町一丁目1番～12番(図書館前・ヤオコー・西仲公園エリア)の道路冠水の解消
- 三和中央通りの景観整備
- 桜並木の環境整備の継続
- まつのき公園へのトイレの設置
- 西仲公園付近の雨水対策による浸水防止
- 三丁目地内公園の木の強剪定
- 大荒田交通公園の全面リニューアル

塚越地区地域要望

- 期日前投票所の新設(西口再開発地区の行政センター内)
- 市民公園さくらまつりを市の観光事業と位置づけた補助金の増額
- サマーinあさがお&ほおずき市への補助金増額
- 定期的および環境変化に応じた樹木剪定を中心とした地区内公園整備
- 東公民館でのぷらっとわらび無料パスの発行
- 塚越グラウンドの人工芝化と市民公園へのグランドゴルフ場の新設
- 緑川の整備(鉄板部分のコンクリート化・浄化・フェンスの架け替え)を県に要望
- 地区集会場所の確保(東公民館の増築・けやき荘利用時間の拡大)
- 市民公園周辺に防犯ステーションの設置
- けやき荘集会室のフローリング化
- 塚越大通りの整備(自転車専用通行帯の設置・歩道ブロック点検・つつじの剪定)
- 市道の定期的な路面整備・道路標示点検・歩道整備(特に通学路内)
- 西川口駅・蕨駅周辺のごみ集積所の標示の整備(通勤時のポイ捨て防止)
- 蕨駅東口商店街の活性化支援

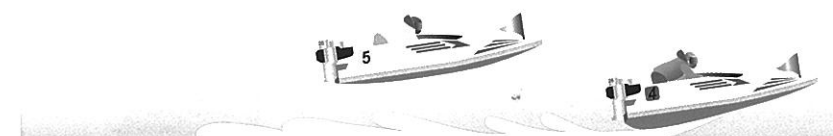
私たちは、蕨市議会の他に戸田競艇企業団議会(年3回定例会)と蕨戸田衛生センター組合議会(年4回定例会)に所属しています。今回は、この二つの議会の取り組み状況をご報告いたします。

戸田競艇企業団議会

池上・前川・古川

戸田競艇企業団議会は、戸田市(14名)・蕨市(8名)・川口市(8名)の三市で構成しております。モーターボート競走事業における売上金の一部は各種助成金・交付金等により公益事業の推進、そして各自治体の一般会計への繰り出しにより、様々な形で社会に還元され続けています。令和元年度は台風19号による莫大な損失、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客開催を余儀なくされ、収益の悪化を招きましたが、そんな厳しい中においても利益をあげました。

今後世の中が「新しい生活様式」に移り変わる中、ボートレースの売り上げ構成も変化していくと思われますが、利益の中から三市に配分金を拠出して三市の財政にも寄与している「地域に役立っている、地域に必要な施設」です。ちなみに令和元年度の戸田競艇企業団からの蕨市への配分金は2億7千500万円でした。

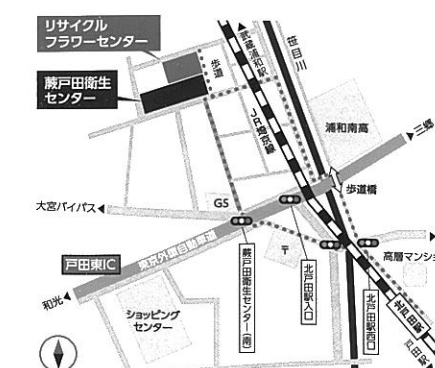


蕨戸田衛生センター組合議会

保谷・大石・今井

蕨戸田衛生センター組合議会は、蕨市(10名)・戸田市(10名)の構成です。両市のごみに関することを審議します。今、主に行っていることは、令和元年度から4年をかけた施設の延命化を目的とした基幹的設備改良工事です。3つあるごみ焼却施設のうち2つの改良工事が完了しています。改良した施設を長持ちさせるには、先ずはごみの量を減らすこと＝リデュース(Reduce)が大切です。

また、市民が持ち寄る生ごみでの堆肥づくりやペットボトルのキャップと花苗の交換などを行なっているリサイクルフラワーセンターは、障がい者や高齢者の雇用の場にもなっています。



蕨戸田衛生センター組合 リサイクルフラワーセンター

所在地:埼玉県戸田市大字美女木980番地
電話:048(421)5573 花苗交換専用
敷地面積:8,746.34㎡
オープン:平成22年5月21日
開園:通年(年末年始・11月23日を除く)



減ごみ
を
しよう!

お疲れ様、そして3年後に…

令和2年10月23日午後5時20分市役所業務終了後、蕨市役所の閉庁式が行なわれました。それまでずっと降っていた雨も止み、和らいだ閉庁の寂しさ。多くの職員に見送られて昭和からの庁舎は、56年の仕事を終わりました。



新庁舎図



時代を感じさせる外観や内部は、過去に幾度かドラマに使われています。しかし、耐震基準や老朽化などの問題があり、令和になりやっと解決に向かいました。現地立て替えて、概算事業費は43.6億円です。令和5年の秋完成予定。新庁舎の落成が今から楽しみです。

議会報告会 今年は放送・配信で開催



蕨市議会 議会報告会

YouTube & ケーブルテレビ Wink

1. 議会報告編
12月4日(金)～1月3日(日)
12月4日(金)～10日(木)
1000/2000 毎日2回放送

2. 質疑応答編
1月22日(金)～2月21日(日)
1月22日(金)～28日(木)
1000/2000 毎日2回放送

蕨市議会事務局

議会改革の一環として議会基本条例が制定され、今年で5回目となる議会報告会を開催いたしました。これまでには公民館などの会場を使つての開催でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催の可否について多くの意見が交わされました。

中止という意見もありましたが、保谷委員長をはじめとする広報広聴委員会メンバーの積極的に発信していきたいという強い思いが通じケーブルテレビでの放送1週間YouTubeでの動画配信1か月という形で実現いたしました。

あとかき

昨年の12月、新型コロナウイルス感染症拡大のさなか、日本中が彼から感動と希望をもらった。その名は、はやぶさ2。

「世界で初めて小惑星の物質を持ち帰ったはやぶさ2の開発は、1985年に宇宙科学研究所で始まった。2003年に打ち上げられ、トラブルを乗り越え2010年に奇跡の地球帰還。大気圏で燃え尽きた初代はやぶさ2に涙したことを覚えている。

しかし、このはやぶさ2が帰還するまでに開発予算は3千万円まで減額。はやぶさ2の打ち上げは絶望的といわれたところへの帰還！次年度予算 30億円が開発が進み、2014年に打ち上げられた。6年かけ与えられた任務を粘り強く強く健気にこなし、さり気なく次のミッションへ。

こんなふうな結果を出す仕事をしたい。

市民相談のご案内

市政に関する市民相談を行っています。迅速な対応を心がけておりますので、お近くの議員へどうぞ。

池上 智康

住所: 北町2-10-9
☎ (431)2438

前川 やすえ

住所: 中央1-17-30-2-1203
☎ (446)3740

保谷 武

住所: 錦町4-4-9
warabi@hoyatakeshi.com

大石 けいこ

住所: 塚越7-7-18
☎ (431)0431

古川 歩

住所: 中央5-10-16
☎ (433)9887

今井 陽子

住所: 中央6-2-26
☎ (444)3442

令政クラブ レポート



新型コロナウイルス対策 今後の取り組みについての提言書 第2弾

■ ワクチン接種を迅速かつ効率よく実施

■ 医療崩壊の防止

■ 感染拡大の防止

■ 市民の心身の健康の維持

■ 企業の廃業・倒産の防止

■ 失業の防止

■ 経済活動の縮小に伴う、経済的な理由による家庭崩壊・自殺の防止

■ 小中学生の学力・体力低下の防止、メンタルのケア→学校は再開したものの、式典・修学旅行等の実施は依然として困難であり、ビフォアコロナ世代と比べ「学びの格差」が発生

■ 巣ごもり生活の長期化に伴う、DV、児童・高齢者虐待の防止

実現した令政クラブの提言

第1弾の提言中「オンライン教育の加速、GIGAスクール構想の前倒し」は、提言後国からの交付金があり、今年1月に実現しました。

課題認識

令政クラブでは、昨年令和2年5月7日に第1弾の提言を申し上げました。

感染拡大の波は数次に渡り続き、依然として医療体制が逼迫しており、当時の予想より長期化し、一層深刻になっております。この感染拡大の中、3月8日から市立病院で医療従事者への接種が始まりました。事態の好転を期待します。

市に提言(2月16日)



蕨市医師会による接種のシミュレーション(2月28日)

令政クラブは蕨市に対し、以下の提言を致しました。

医療

ワクチン接種

目的 感染拡大・重篤化を防ぎ、集団免疫を獲得する



- 迅速かつ効率よくワクチン接種を実施する。ワクチンと、ワクチン接種に当たる医療リソースの無駄が生じないようにする。
- 接種忌避を防止する。そのために、接種に対するインセンティブ制度を設置する。
- 市民の不安を取り除き、安心を確保するために、迅速かつ詳細な情報提供、丁寧な広報・コミュニケーションを行う。
- 接種のための医療リソースを適切かつ十分に確保する。
- 保健センターの人的リソースの補充。
- 高齢者等施設への出張接種、市外で働く勤労者が仕事を休まずに済む仕組みへの配慮を行う。

※リソース…資源、財源

医療機関支援

目的 医療崩壊を防ぐ

- 医師会・市内医療機関と綿密なコミュニケーションを図り、連携を強化する。
- 適切な市内医療機関への支援を行う。

生活支援

市民の生活支援

目的 市民の生活を守る

- 国に対して特別定額給付金第2弾を求める。
- 国・県からの情報なども含め市民に支援策の周知に努める。

市内の事業者支援

目的 地域経済を守る

- 昨年10月に実施した緊急対策第3弾は、6,000万円の予算に対して約1億9900万円の経済効果がありました。
- PayPayキャンペーン第2弾を実施する。
 - テイクアウトマーケットの場を作るなど、新たな需要増に対応する。

各種指標の注視

目的 市民の生活、地域経済の悪化をいち早く察知する

- 廃業・倒産、失業、自殺、DV・児童高齢者虐待の相談等の各種件数・傾向を注視し、迅速に対応する。



学校教育

幅広い学習機会の確保

目的 学びの格差拡大に歯止めをかける

- 公民館等の公共施設におけるネット接続環境を確保し、学びに役立てる。
- 教育ICTの自宅利用への環境をつくる。基礎・基本が学べるドリル教材を利用できるソフトウェアを導入、登校ができない期間も学びの機会を保障、登校が困難な児童生徒への学習を支援する。

校内衛生環境の充実強化

目的 校内感染の防止

- ドアノブ、水道の蛇口に触らずに済むようにする。
- トイレの洋式化を進める。

児童生徒のメンタルヘルスケア

目的 児童・生徒の心の健康を守る

怒りっぽい子、ふさがちな子など統計に表れてこない子どもの潜在的な「コロナ鬱」が増えています。

- 心の健康により一層注意を払う。
- 心の健康診断をする。



ニューノーマルへの対応

行政サービスのDX

- 市庁舎を訪れ、窓口には並ばなくても、オンラインで手続きが完結するようにする。

テレワーク推進

- 市役所業務(市役所内の、市職員の仕事)のテレワーク化を進める。
- 市内事業所、市外に働きに出ているサラリーパーソンのテレワーク導入を支援する。

電子決済推進

- 役所←→市民:納税、各種使用料等のオンライン決済・電子決済化の推進をする。(クレジットカード、ペイジー、QRコード・Felica等のスマホ端末による決済)
- 市内事業所(主に小売・飲食業)における電子決済の導入を支援する。
- デジタルに苦手意識を持っている層(主に高齢者)への使い方支援をする。



